



2022年3月期
第 2 四 半 期 決 算 説 明 資 料

(2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日)

2021年11月26日

リズム株式会社
(東証一部 7769)

1. 2022年3月期第2四半期の総括

決算概況、売上高、営業利益、事業別業績、B/S、C/F

2. 今後の展開

通期業績予想、事業別取組

3. トピックス

参考資料：修正中期経営計画

注：本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)で表しています。
また、計画は2021年5月14日発表『修正中期経営計画』の数値となります。実績予想は2021年8月11日発表『繰延税金資産の計上および業績予想の修正に関するお知らせ』の数値となります。

1. 2022年3月期第2四半期の総括

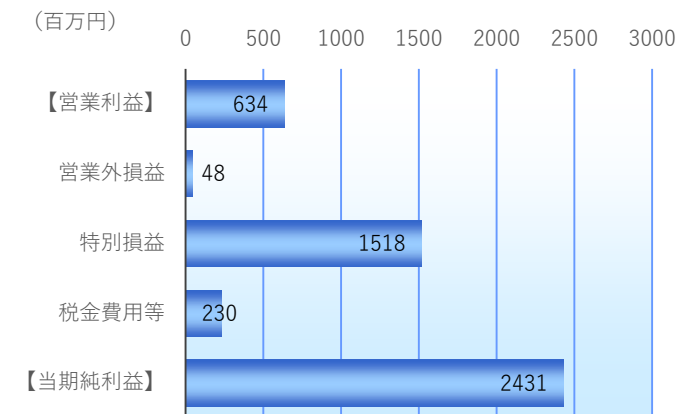
前期比15%増収、営業損失から黒字転換

(百万円)	2021年3月期 Q2	2022年3月期 Q2	前期比
売上高	12,039	13,855	1,815 15.1%
国内売上	7,680	7,254	△426 △5.5%
海外売上	4,359	6,601	2,242 51.4%
海外売上比率	36.2%	47.6%	11.4%
営業利益	△367	266	634
営業利益率	△3.1%	1.9%	-
経常利益	△249	432	682
経常利益率	△2.1%	3.1%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,979 △16.4%	451 3.3%	2,431 -
1株当たり 四半期純利益(円)	△239.67	54.65	294.32
期末日為替レート (US\$ = ¥)	105.80	111.92	6.12
期中平均為替レート (US\$ = ¥)	107.19	109.54	2.35

主な利益増減要因

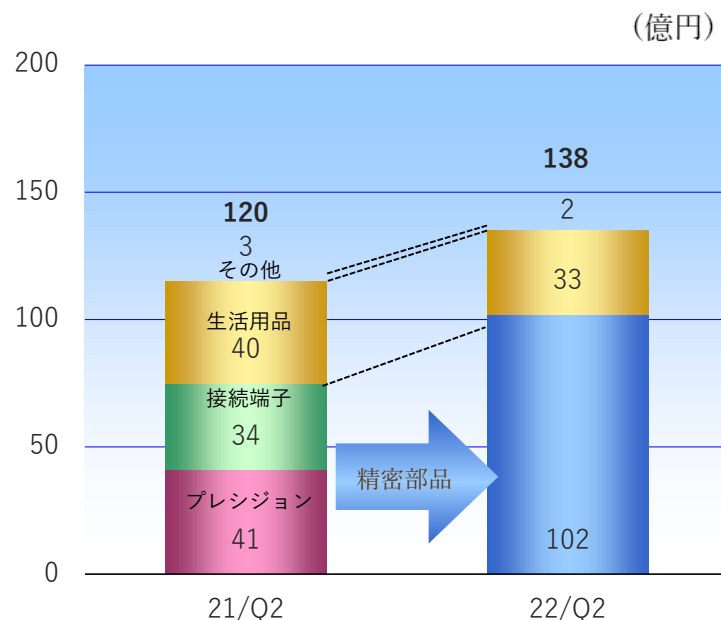
	当期計上額	前期比 利益インパクト
【営業外損益】		
受取賃貸料	154百万円	△6百万円
受取配当金	49百万円	+6百万円
為替差益	8百万円	+26百万円
賃貸費用	62百万円	+8百万円
【特別損益】		
早期退職関連費用	0百万円	+1,501百万円

四半期純利益増減内訳



第2四半期累計期間 売上高

(百万円)	2021年3月期 (Q2)		2022年3月期 (Q2)		前期比	2022年3月期 (Q2)	
	実績	構成比	実績(a)	構成比		計画(b)	増減(a-b)
売上高	12,039	100%	13,855	100%	1,815	13,700	155
精密部品事業	7,571	63%	10,238	74%	2,666	9,600	638
プレジジョン	4,156	35%	5,743	41%	1,587	5,200	543
接続端子	3,415	28%	4,493	32%	1,078	4,400	93
生活用品	4,079	34%	3,373	24%	△ 705	3,900	△ 527
その他	389	3%	243	2%	△ 145	200	43



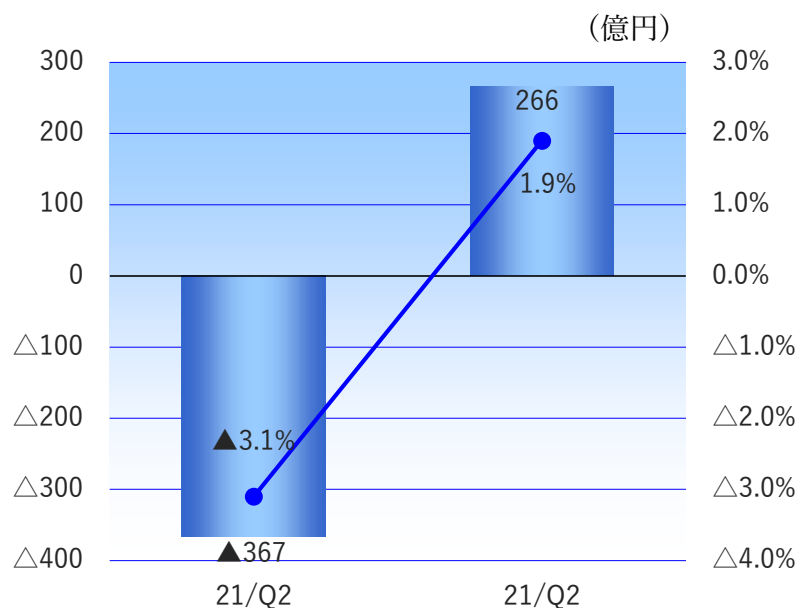
総括

- ・ 18億15百万円増収、精密部品が貢献
- ・ 精密部品事業は前期比26億66百万円増収
工作機器関連売上が好調に推移
自動車、家電関連部品の受注も堅調に推移
- ・ 生活用品事業は海外販売良化も国内は新型コロナウイルスの影響を受け全体では減収

※2020年4月、プレジジョン事業は電子事業を統合
 ※2021年4月、プレジジョン事業と接続端子事業を統合し精密部品事業へ

第2四半期累計期間 営業利益

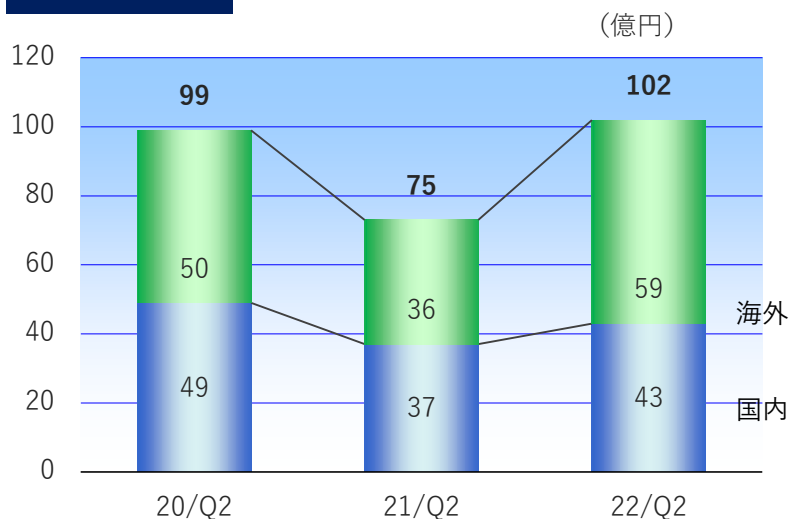
(百万円)	2021年3月期 (Q2)		2022年3月期 (Q2)		前期比	2022年3月期 (Q2)	
	実績	利益率	実績(a)	利益率		計画(b)	増減(a-b)
営業利益	△ 367	△3.1%	266	1.9%	634	100	166
精密部品事業	△ 190	△2.5%	617	6.0%	808	400	217
プレシジョン	△ 177	△4.3%	315	5.5%	492	170	145
接続端子	△ 13	△0.4%	302	6.7%	315	230	72
生活用品事業	61	1.5%	△ 115	△3.4%	△ 176	△ 50	△ 65
その他事業	59	15.2%	40	16.5%	△ 19	30	10
調整額	△ 297	—	△ 276	—	21	△ 280	4



総括

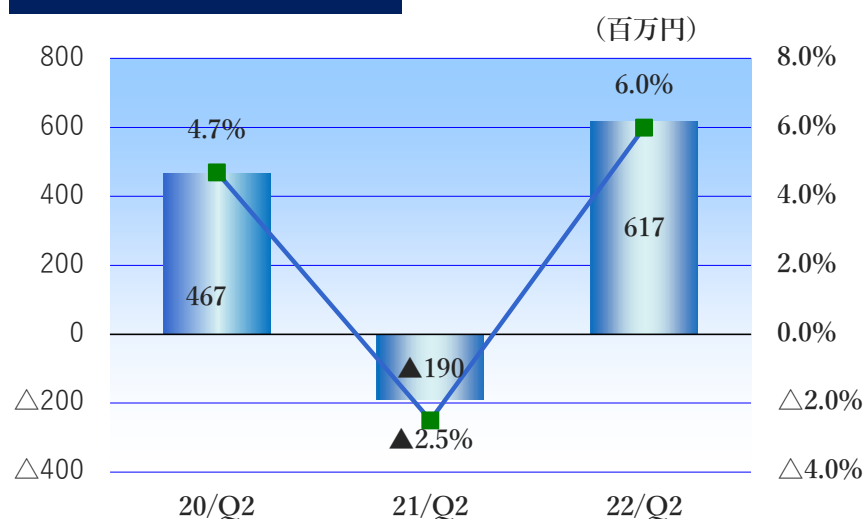
- 前期比6億34百万円の増益
- 精密部品事業は 前期比8億8百万円の増益
- 精密部品事業が全体を牽引し生活用品事業の落込みをカバー
- 第2四半期において、業績減速みられたが前年同期の営業損失から黒字に転換

売上高



※2020年4月、プレジジョン事業は電子事業を統合 ※2021年4月、プレジジョン事業と接続端子事業を統合し精密部品事業へ

営業利益、利益率



総括

増収、営業損失から黒字化

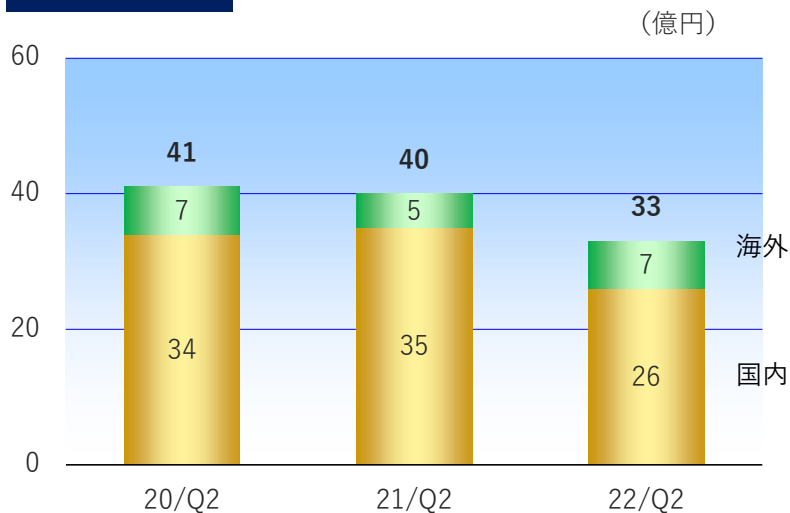
【国内】増収、営業損失から黒字に転換

- ・ 工作機械関連部品、自動車関連部品の受注が引き続き好調に推移
- ・ 巣ごもり需要等により、エアコン、テレビなど家電関連部品の受注も増加
- ・ 第2四半期においては、原材料の入手困難や価格高騰の影響により、生産の停滞や原価上昇をまねいた

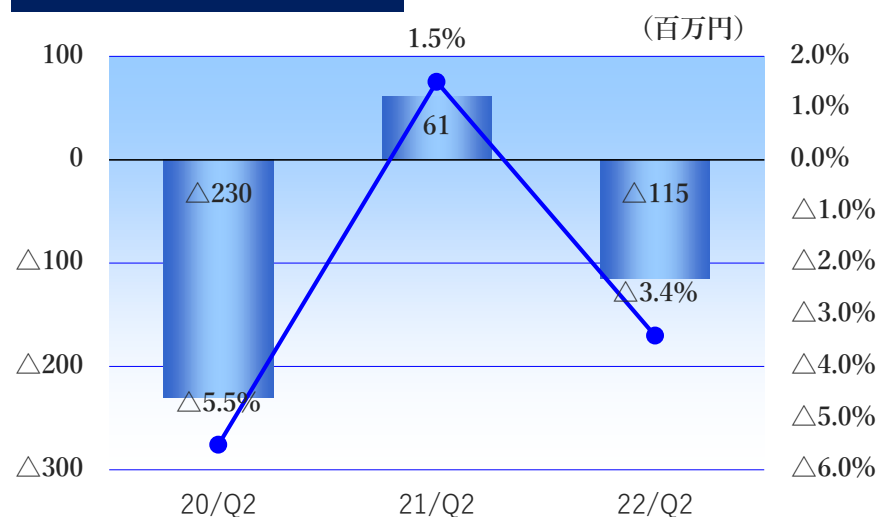
【海外】増収増益

- ・ 自動車、家電関連部品の安定した受注が継続した
- ・ 第2四半期において、ベトナム生産拠点でのロックダウンによる稼働制限の影響で大幅な生産減が生じた
- ・ 客先減産や部材入手困難等様々な影響を受けながら最大限の生産を確保した

売上高



営業利益、利益率



総括

減収、営業損失

【国内】減収・営業損失

- ・ 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置による外出自粛や店舗の営業制限、またインバウンド需要の長期停滞などの要因が重なり販売不振が続いた
- ・ 半導体の入手困難などによる製品供給遅れが販売停滞の追加要因となった
- ・ 販売不振により固定費削減の効果及ばず

【海外】増収・営業損失

- ・ ワクチン接種が進み行動制限が緩和され消費回復傾向により、中国、香港を中心にアジア、中東、欧州、米国で販売回復
- ・ 中国における人件費高騰、原材料価格の上昇を吸収出来ず

貸借対照表【資産】

(百万円)

開示科目名	2021年3月末	2021年9月末	増減額
流動資産	21,827	22,268	441
現金及び預金	10,276	9,742	△ 533
受取手形及び売掛金	4,150	-	△ 4,150
受取手形、売掛金及び契約資産	-	3,503	3,503
電子記録債権	1,452	1,736	284
棚卸資産	5,469	6,601	1,132
その他	479	684	204
貸倒引当金	△ 1	△ 0	1
固定資産	13,877	14,022	145
有形固定資産	9,539	9,639	100
無形固定資産	837	656	△ 180
のれん	583	416	△ 167
その他	253	240	△ 12
投資その他の資産	3,500	3,725	225
資産合計	35,704	36,291	586

資産合計 5億86百万円の増加

流動資産 棚卸資産の増加等により4億41百万円増加

固定資産 五所川原工場増築等により1億45百万円増加

貸借対照表【負債・純資産】

(百万円)

開示科目名	2021年3月末	2021年9月末	増減額
流動負債	5,142	8,568	3,425
支払手形及び買掛金	2,938	3,166	228
短期借入金	332	275	△ 57
1年内返済予定の長期借入金	433	423	△ 10
1年内償還予定の社債	0	3,000	3,000
その他	1,438	1,702	264
固定負債	5,515	2,233	△ 3,281
社債	3,000	0	△ 3,000
長期借入金	1,510	1,302	△ 208
その他	1,004	931	△ 73
負債合計	10,657	10,801	144
純資産	25,046	25,490	443
株主資本	23,031	23,200	169
資本金	12,372	12,372	0
資本剰余金	7,584	7,584	0
利益剰余金	3,350	3,519	170
自己株式	△ 275	△ 276	△ 1
その他の包括利益累計額等	2,015	2,289	274
負債純資産合計	35,704	36,291	586

負債合計 1億44百万円増加

1年以内償還予定の社債30億円を固定負債から流動負債へ

純資産 利益剰余金の増加等により4億43百万円の増加

四半期連結キャッシュフロー

	2021年3月期 Q2実績	2022年3月期 Q2実績	前期比
営業活動によるキャッシュフロー	751	496	△ 254
投資活動によるキャッシュフロー	△ 342	△ 547	△ 205
財務活動によるキャッシュフロー	△ 296	△ 544	△ 247
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,652	9,742	90

営業活動によるキャッシュフロー

売上債権や棚卸資産の増減等により、前期末から4億96百万円の資金の増加
(前期比2億54百万の減少)

投資活動によるキャッシュフロー

五所川原工場増築等による支出が5億55百万円、前期末から5億47百万円の資金の減少
(前期比2億5百万円の資金の減少)

財務活動によるキャッシュフロー

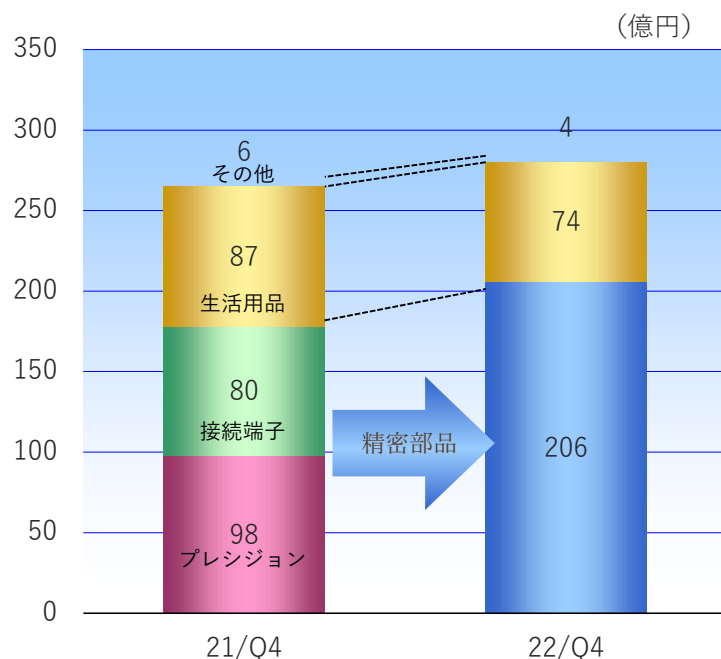
長期借入金の返済による支出が2億18百万円、配当金の支払い2億47百万円あったこと等
により、前期末から5億44百万円の資金の減少 (前期比2億47百万円の資金の減少)

全体では前期末から5億33百万円の資金減少 (前期比90百万円の増加)

2. 今後の展開

通期業績予想 売上高

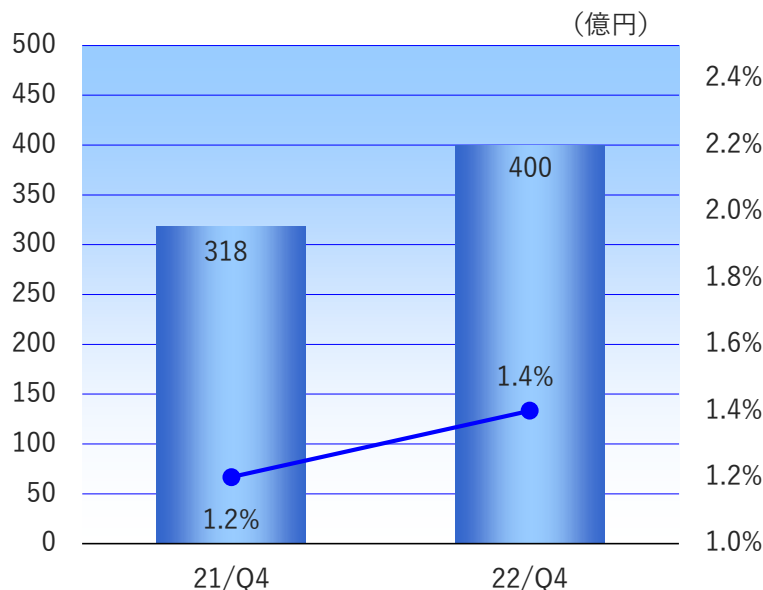
(百万円)	2021年3月期		2022年3月期		前期比	2022年3月期	
	実績	構成率	予想(a)	構成率		計画(b)	増減(a-b)
売上高	27,304	100%	28,400	100%	1,096	27,600	800
精密部品事業	17,957	66%	20,600	73%	2,643	18,800	1,800
プレジジョン	9,882	36%	11,600	41%	1,718	10,300	1,300
接続端子	8,075	30%	9,000	32%	925	8,500	500
生活用品事業	8,717	32%	7,400	26%	△ 1,317	8,400	△ 1,000
その他事業	629	2%	400	1%	△ 229	400	0



- ・ 前期比10億96百万円の増収
- ・ 精密部品事業：前期比26億43百万円の増収
部材入手難による顧客の減産情報あり、先行き不透明も、海外拠点の稼働回復が後押し
- ・ 生活用品事業：前期比13億17百万円の減収
海外に続き、遅れている国内受注回復見込み
ネット販売、防災ビジネス強化
部材入手遅れによる業績への影響が懸念材料

通期業績予想 営業利益

(百万円)	2021年3月期		2022年3月期		前期比	2022年3月期	
	実績	利益率	予想(a)	利益率		計画(b)	増減(a-b)
営業利益	318	1.2%	400	1.4%	82	330	70
精密部品事業	488	2.7%	1,110	5.4%	622	830	280
プレシジョン	60	0.6%	570	4.9%	510	380	190
接続端子	428	5.3%	540	6.0%	112	450	90
生活用品事業	234	2.7%	△ 245	△3.3%	△ 479	0	△ 245
その他事業	98	15.6%	70	17.5%	△ 28	60	10
調整額	△ 503	—	△ 535	—	△ 32	△ 560	25
経常利益	588	2.2%	650	2.3%	62	530	120
親会社に帰属する当期純利益	△1,262	—	450	1.6%	1,712	330	120



- 前期比82百万円の増益
- 精密部品事業：前期比6億22百万円増益
部材高騰の影響受けるも、受注は堅調に推移
- 生活用品事業：前期比4億79百万減益
製造原価高騰の課題を生産効率化等で抑制
- 純利益：第2四半期累計で4億50百万円と通期
予想に到達も、部材入手困難や価格高騰、顧客
の減産など不透明感強く、業績予想は据え置く

▶車載関連ビジネスの拡大

自動運転用カメラ部品・EV関連部品の更なる受注拡大
国内、中国、東南アジア、EUでの売込拡充

▶複合品の受注強化（シナジー効果）

樹脂成型+プレス加工、一体成型、ソレノイドコイル等
得意分野を活かしたトータルメリットで付加価値の創出

▶接続端子の新製品開発・提案

成長分野で顧客のニーズを掴む

▶樹脂成形部品の受注拡大

高難度精密部品及び加工部品の更なる高精度化を活かす

グローバル
ビジネス拡大

信頼

提案

技術



▶2022年快適品の 新規市場参入と中期拡大成長への挑戦



- ・高性能超音波加湿器の新規発売
- ・新機能防災行政ラジオの市場導入
- ・モバイル機器用防水ケースの新規発売
- ・アロマディフューザーの新規発売

▶クロックラインナップの絞り込み

- ・主要製品への選択効率化と販売集中化

▶海外市場への快適品及びクロック販売強化

- ・中国含むアジア、米国市場へ快適品を新たに販売
- ・各国の市場にマッチしたクロックの販売拡大

▶もの造り強化

- ・もの造り改革プロジェクトの強化継続
⇒生産性拡大・品質強化で効率化とコスト抑制



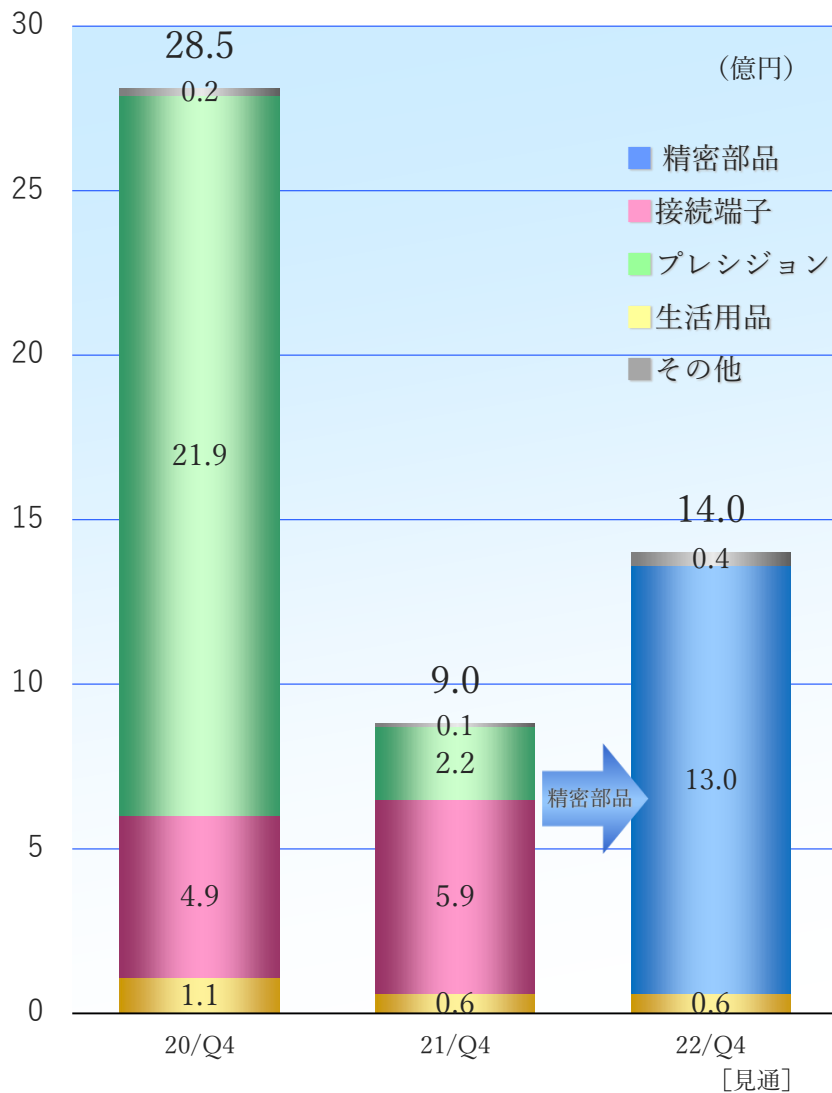
2020年発売モデル シルキーファントモバイル2 / 9ZF028RH



“快適品” 人々の快適な暮らしづくりにお役に立つ新商材

快適品拡大、クロックは選択と集中で採算化

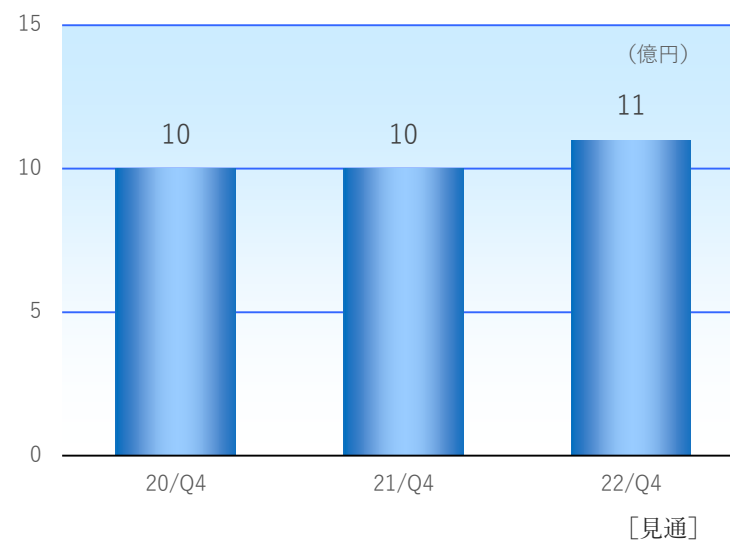
設備投資



設備投資（通期）見通し

(億円)		
生活用品事業	0.6	金型
精密部品事業	13	プレス機、加工機、成形機
五所川原工場建設		
その他事業	0.4	不動産修繕
合計	14	

減価償却費



3. トピックス

五所川原工場増築工事落成



近年の精密部品事業拡大に伴い手狭になりました五所川工場の増築工事が無事完了し、4月に落成式を迎えました。コロナ禍、厳寒の中、工事に従事頂きました施工業者様をはじめ、落成式には関連企業様から数々のお祝いを頂戴いたしましたことを感謝申し上げます。今後も工場一丸となって、五所川原ひいては青森の地域活性化と持続的な発展のために貢献出来るよう一層社業に専念し努めて参ります。



五所川原工場新社屋

時計の寄贈



それいけ!アソソマ
4KG713M19



スモールワールドクラッセ
4MN538RH23



当社では創立50周年の2000年より毎年6月10日の時の記念日に埼玉県内の児童施設へ時計の寄贈を行っており、これまでに累計860を超える施設に子供たちに喜ばれる時計を贈っています。2021年度は蕨市内の保育施設へお贈りし、蕨市長はじめ寄贈先の保育園から感謝状をいただきました。

『パートナーシップ構築宣言』に登録

内閣府及び中小企業庁が大企業と中小企業の共存共栄の関係を構築することを目的に創設した『パートナーシップ構築宣言』に当社も登録いたしました。当社の経営理念「たゆみない創造と革新を続け豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する」「世界の国々における取引を通じ関係者の繁栄を図る」等の基本理念の実践とともに下請中小企業振興法に規定される振興基準への対応を推進して参ります。



当社製品のメディア露出



ケロクロック2

ニッポン放送のラジオパーソナリティ辛坊治郎氏が今年無事達成されたヨットによる太平洋無寄港横断に携帯頂いたことから当社製品「ケロクロック2」がラジオ番組でも話題となり取材頂きました。また、グループ会社アイ・ネクストジーイー社が取り扱うスウェーデンのウォッチブランド「TRIWA (トリワ)」のSDGs関連商品『TIME FOR PEACE』シリーズの腕時計は度々メディアで取り上げられ大きな反響をいただいています。



NORDIC FEELING ポップアップストア開催

グループ会社アイ・ネクストジーイー社の直営店であるNORDIC FEELINGがNEWoMan横浜、渋谷スクランブルスクエアにてポップアップストアを開催し、北欧ブランドの時計や雑貨だけでなく、RHYTHM製品の展開も行いました。いずれも新横浜駅、渋谷駅から直結の館内で店舗限定のキャンペーンも実施しました。今後も商品の魅力の伝播と認知・販路拡大に努めて参ります。



渋谷スクランブルスクエア9Fにて来年3/31迄開催中

参考：修正中期経営計画

【外的要因】

- ～新型コロナウイルス感染症、米中貿易摩擦による影響～
- ～国内外時計市場の縮小～
- ～IoT、5G、EVなど新テクノロジーの進展～
- ～SDGs、ESG～

【内的要因】

- ～3期連続最終赤字～
- ～国内3社の合併～
- ～組織・セグメントの変更～
- ～社会的信頼回復への取組継続～



【現中期経営計画最終年度(2021年度)】

2022年度からの新中期経営計画につながる土台づくり。

新中期経営計画の土台となる2021年度事業計画

2021年度

2021年度事業計画
(新中期経営計画の土台)

新RHYTHMへ
～飛躍へ向けた基盤づくり～

1. 成長戦略への取組
2. グループガバナンスの強化
3. ROEの改善
4. 企業価値の向上

単年度黒字の回復

2022年度から2024年度

新中期経営計画

成長戦略の実現

持続的な成長へ

新RHYTHMへ～飛躍へ向けた基盤づくり～

1 成長戦略への取組

新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大
グローバル戦略の強化
車載関連ビジネスの拡大
生産性の向上

2 グループガバナンスの強化

人材の育成
グループ経営管理の向上

3 ROEの改善

収益力の回復(単年度黒字の回復)
資産の有効活用



4 企業価値の向上

ステークホルダーとのコミュニケーション
SDGs、ESG、CSRの推進

成長戦略への取組

① 新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大

- ・精密部品：旧東北リズム、旧リズム協伸の合併シナジー効果による
プレスからインサート成形までの一気通貫型ビジネスの拡大
- ・生活用品：新製品群の拡大と防災行政ラジオの売上拡大

② グローバル戦略の強化

- ・ベトナム3拠点のシナジー、営業共有化強化で新規顧客開拓・売上拡大
- ・中国市場、EU圏における精密部品事業(車載関連)の拡大
- ・中国を中心としたアジア圏での生活用品事業の拡大

③ 車載関連ビジネスの拡大

- ・EV化、自動運転化への対応
- ・五所川原新工場の稼働

④ 生産性の向上

- ・品質向上ともの造りの強化(麗声実業もの造り改革プロジェクトの推進等)
- ・自動化の加速

グループガバナンスの強化

① 人材の育成

- 経営幹部、グローバル人材の育成

② グループ経営管理の向上

- ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理の強化と定着
- 新市場区分変更と改訂コーポレートガバナンス・コード(CGC)への対応

ROEの改善

① 収益力の回復(単年度黒字の回復)

② 資産の有効活用

- 資産効率の向上、M&A、新分野への積極投資

企業価値の向上

- ① **ステークホルダーとのコミュニケーション**
 - ・SR(ステークホルダーリレーション)方針・実施計画の策定、実行
- ② **SDGs、ESG、CSRの推進**
 - ・CO2削減、リサイクル、廃棄物・製造副産物活用への取組
 - ・ダイバーシティの推進

合併による統合・融合の推進

- ① **機能別組織によるシナジーの発揮**
- ② **人員(配置)最適化、共通部門効率化へ向けた早期のシステム統一(人事、会計など)への取組**
- ③ **新人事制度導入による組織の融合**

新しいRHYTHM 事業概要

生活用品

BtoC

クロック、ウォッチ、防災行政ラジオ、USBファン・加湿器等の「快適品」等を扱う時計事業は「生活用品事業」へ名称変更。

話題のJ-POPメロディ収録
新感覚アミュージングクロック
「4MN555RH06」



防災行政ラジオ
「9ZQA36」



充電機能、LEDライト付防災クロック
(一般消費者向け)
「4RQ001-003」(2021年7月発売予定)



2021 BERING
New Collection
ステンレスリンクの
マルチファンクション「Classic Link」



2重反転モバイルファンシリーズの新商品
「Silky Wind Handy Fan S」

精密部品

BtoB

精密金型、精密備品等を扱う接続端子事業とプレジジョン事業を統合し、「精密部品事業」に変更。

例えばこんなところに・・・

In these familiar places, for example...

プラスチック部品(鏡筒)
Plastic parts (lens tubes)

センシングカメラ
Sensing camera



プレス部品(オリフィスプレート)
Stamper parts (orifice plates)

エンジン内 燃料噴射装置
Fuel injection systems in engines

各種端子
Terminals

パワートレイン電源、
車載充電器、
カーオーディオ、
ドアミラー開閉制御
Powertrains, car audio,
door mirror opening/
closing controllers



ソレノイドコイル
Solenoid Coil

エンジン内 パルプタイミングシステム
Valve timing systems in engines



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

広報 I R 担当窓口

リズム株式会社

経営企画部 相澤(アイザワ)

作田(サクダ)

電話 048-643-7241(経営企画部直通)